学院大、 短 大 初 の合同 卒業式

術文化専攻科の第一期生を含めた五百五十一人が卒業、修 式は三月十七日、 金沢市の石川厚生年金会館で行われ、 短大が合同で卒業式・修了式を挙行し 卒業証書・学位記授与式、金沢学院 短期大学の第五十四回卒業証書授与 美

記授与式、金沢学院大学の第十五回

金沢学院大学大学院の第五回学位

たのは初めてです。 了しました。大学、

5





学長褒賞を授与された学科・学部代表

学院で学んだ人間としての自かなることに遭遇しても金沢

有為転変の世に船出し、

١J

応する柔軟性である。 熟慮断行する機略、変化に対

飛躍が可能になる。

学長式辞(抜粋)

目覚と責任を持っ

て行動

を

って行動して を切り開くの は大胆な ほしい。未来 独創性

分別は、

国を超え、

社会を超え、

を贈る。

仏法に「諸行無常」

変える努力を続けてほしい」

理事長告辞(抜粋)

のすべてのもしくは世の中 味でなく、正 はかないの意 る。この世は いう言葉があ

授与しました。 成績優秀者に 各代表に卒業証書、学位記を 文化専攻科、大学院研究科の 科・専攻、大学の学科と美術 はなむけの言葉に「自分を 石田寛人学長が短大の学 渡されました。 部の代表に賞状と記念品が手 名一覧) に贈られ、学科、学 合わせて三十三人 (次頁に氏 対する学長褒賞は大学、 は一瞬の停滞もなく変化し 短大

社会とかかわり、いろいろないるが、皆さんには積極的に組織に順応できず、他人とか ければならない。社会や会社 するために自分自身を変えな 我々は身の回りの変化に対応 ているという意味である。 人間関係を築いてほしい。



得ないものを受け入れる落ち きものを変える勇気と、変え 基礎を固めた上にこそ大きな 着きと、その両者を見分ける 洋の東西を問わず、 変えるべ まず、 で盛り上がりました。 構えで行われ、抽選会など 先に学部ごとに懇親したあ かれました。試みとして、 沢エクセルホテル東急で開 賀・謝恩パーティーは、 と、合同の祝宴に移る二段 金沢学院大学の卒業祝

金

ました。 ってほしい」などと激励し た鎧を得たことに自信を持 「学歴という生涯身に付い 思考で生き抜いてほしい」 くのことを学び取るプラス 辞でそれぞれ「失敗から多 下置宏子大学同窓会長が祝 奥田栄美子短大同窓会長: 理事長の告辞に続いて、 石田学長の式辞、 飛田秀

究科の代表は次の皆さんで

学科、学部、専攻科、

ていきたい」と誓いました。 若い力を精いっぱい発揮し

で培った知恵と知識、誰彼 の別なく友として共生する

の引用も交えて゛大学生活

口美幸さんは、

短歌や英詩

が厳しい社会に貢献できる が持つ若いエネルギーこそ のと確信します」と述べま 原動力であり、これからの 表の桶川昌樹君が「私たち 人生を充実させてくれるも 答辞では、 大学卒業生代表の中

短大卒業生代 化財) 齋藤麻里(美工専攻) 寺本直洋(情デ)赤井田雅行(哉(ネット)青木良識(美工)

大文

ミ)山崎千春(生活文化) 学長褒賞 村上典子(坂公恵(研究科) 萩野佳乃子 (美術文化) 幸恵(文)中田有理(経営情報) 村上典子(言コ 中

大学謝恩会で挨拶する宮本学園長

華やかな雰囲気が漂う短大謝恩会

理事長が激励の言葉に続い 学長が挨拶し、上山夏樹副 祝杯を交わしました。石田 り、卒業生が恩師を交えて 石川厚生年金会館内であ 恩・卒業祝賀パーティー て乾杯の発声をしました。 ・卒業祝賀パーティーは金沢学院短期大学の謝 桶川昌樹、

永江理美、

【 短 大 】

成績優秀者

精励たたえ学

クラブ・学友会などで 82 秀者は 33

短期大学の平成十六年度卒 ラブ等)の授与式は三月十 業生に対する学長褒賞 (ク 六日、4号館講堂で行われ、 金沢学院大学、金沢学院

自身の感動をもっと大事に し、この表彰を飛躍台にし 石田学長は挨拶で、自分

卒業生 19 人に 清鐘台奨学金

た 動で活躍した大学五十九 品の時計が手渡されまし 寛人学長から表彰状と記念 卒業企画、学友会、課外活 体育クラブ、文化クラブ、 人、短大二十三人に、石田



卒業生 清鐘台奨学金を受け取る

の給付は三月十六日、4号 業生に対する清鐘台奨学金 短期大学の平成十六年度卒

館講堂で行われ、全国公募

体育クラブ活動で学長褒賞を受ける卒業生

金沢学院大学、金沢学院

せて十九人に、石田寛人学

学長褒賞受賞者は次の皆

北三大会 桶川昌 **白恵、平野愛、前相澤真貴、前田** 卒業企 # 竜司、小林勇介、佐野太一、 岸下卓矢、紺谷昂志、笹木 柏旨乃、人見雅樹、大房仁、 直英、横山康博、杉原綾香、 水野孝紀、中川裕介、酒井 重吉展光、小谷内納、 体育クラブ 竹田英

広子、小石恵、平野愛、

平中美穂、柏麻衣子、 樹、川原舞、千田ちえみ、

越沢麻衣子、

東いずみ、

画・学友会

加賀篤史、

秀、田中美佐、武元一和田昌子、中田有理、 佳乃子、 寺本直洋、 柏旨乃、 松山航、野上麻衣子、萩野 山内翔子、 幸惠、北出沙友里、南吉野、 津嶋文、祖父尼慎也、中澤 藤井恵里 赤井田雅行、 小川誠、長谷彩、 松原明日香、 成績優秀者

弥生、竹下欣吾、小林理恵

長野有沙、大家裕子

体育クラブ 大間美

典子、中村友子、秋元直子、

田中麻依子、山崎千春、荒

紀、上田裕美、

亀田香苗、

上知香、田主千尋

山岸絵里 文化クラブ

都築彩乃、

子、濵田琢也、岩見奈央子、 大長正人、渡辺聖、 康介 文化クラブ 佐藤修悦、小松靖明、 加藤裕子、鈴木英明、 前田美香、 瀧川祐市、 塚田太伊 伊藤尚 石井景 吉村

子、長﨑博子、野中彩、萩北島麻美、竹内温、田沢洸 田亜樹、青木良識、今坂和 村上丈史、子安圭、中澤幸 やか、片山義康、中村裕光、 業企画・学友会・課外活動 赤井田雅行、 福村芳枝、横山卓、植木さ 林田賢、小林勇貴、安 今村大祐、岩永京子、 坂下博晃

> 雅信 (以上美術工芸) 北島麻美、田沢洸子、横山

フ

の皆さん。(カッコ内は学科 清鐘台奨学金受給者は次 十万円 全国公募展・

文化) コンクール (日展レベル) 検定準1級 野佳乃子(同) 人選 野中彩 (美術工芸) ファッションコーディネ ト色彩能力検定1級 林聡美 (生活 秘書技能

展等以外)入選

今坂和美、

全国公募展・コンクール(日 本淳子 (以上生活文化) 昌樹 (言コミ) 堀静香、

級ク

小野寺栄一 (同)桶: 日本漢字能力検定2

村

ットワーク) 定2級 北佐知子 (経営情 技能検定2級 矢後えりな 、経営情報) 村上真子 (ネ 五万円 吉廣恵子 (生活文化) ビジネス文書 秘書技能検 括文化) 技能検定2級 色彩能力検定2級 アッションコーディネート 美 (情報デザイン)藤本景 子 (生活文化)

林聡美(生

松屋で開かれます。

発行・広報室

四月四日まで、東京銀座の

日春展は三月三十日から

実用英語

前田直

ュニケーション学科一人、 学部七人、短大は言語コミ クに応じた奨学金が授与さ 長から清鐘台奨学賞とラン 営情報学部五人、美術文化 れました。 生活文化学科六人でした。 受給者の内訳は、 大学経

を申請した大学、短大合わ 資格試験に合格して、 展入選や検定試験、資格試

> ました。 て、これからの人生を着実 に歩んでほしい」と激励し

> > 生の

Ш

内君と

が栄誉を手にしました。 で授与され、短大十二人、 は三月十七日の卒業式の中 ||大学二十||人の計三十三人 成績優秀者への学長褒賞

者の目を 文化学部 ど、美術 と専攻科 引きまし 作品が並 集大成の 制作した で学んで ある「積」「ばら...咲く」 心賑わい回廊ミュー で開かれました。 それぞれ日展初入選作で

級 武元一哉 (ネットワー技能評価試験表計算部門2 コンピューターサービス

今村君が新入選 第40回日春展

選しました。 も会員出品しています 大学の平木孝志教授が再入 田真也助手と金沢学院短期 選しました。教員では、 の「叩けボンゴ!」が新入 学部を卒業した今村大祐君 金沢学院大学美術文化 [本画の第四十回日春展 中町力助教授 池

【携帯 Web 】http://k-gu.jp/

ジアム

金沢市香林坊の都

ら六日間、

修了式当日の三月十七日か

内登喜雄さんと山下晃世さ

攻科 (日本画)を修了した山

金沢学院大学美術文化専 山下さんが二人展

んの「二人展」=写真=は、

[URL]

http://www.kanazawa-gu.ac.jp/